

「桂結」について

京都大学



2024年7月版

「桂結」(かつらゆい) について

「桂結」は、令和2年4月に発足した、京都大学の設備サポート拠点です。

協議会をトップに各系の機器室がぶらさがり、それらが保有する設備をネットワークシステム「KUMaCo」で結びつけて共同利用を行う体制を目指しています。

なお、現在桂地区には工学研究科しかないことから、「桂結」は工学研究科のみが母体となっています。工学研究科の専攻は、宇治地区や吉田地区にもありますが、これらの機器室はそれぞれの地区の拠点ではなく、「桂結」に参画しています。

設備サポート拠点等体制図

設備整備・共用促進委員会

【主な役割】

- ・設備サポート拠点の審査・選定
- ・設備サポート拠点への支援策の検討
(オペレータの配置やサポート体制の強化など)
- ・設備サポート拠点の取組のフォローアップ
(稼働率や収支状況など)

《R2.7～》

北部キャンパス機器分析拠点
【理学、農学、生命】

《H31.2～》

本部構内設備サポート拠点
(MaCBES)
【高等研究院、ナノハブ】

《R1.10～》

宇治地区設備サポート拠点
【化研、生存研、エネ研、防災研】

《H31.2～》

医学・生命科学研究支援機構 (iSAL)
【医学、生命、薬学、ウイ・再研】

《R2.4～》

“桂結”

—最先端研究機器の進化するネットワーク拠点【工学】

